

科目名	高齢者看護学特別研究			分野・必選別・単位数	専門科目 (高齢者看護学)	選択必修	10単位
担当教員	◎教授 上野公子					科目ナンバー	T2C128
課程	博士前期	配当年次	2年	配当学期	通年	授業方法	演習
授業の概要	自ら選んだ研究課題について研究的に取り組み、最終的に修士論文を作成し、看護研究を行うための基礎的実践能力を修得する。						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文献レビュー、計画書作成、倫理委員会資料作成、研究フィールドの開拓、中間報告、最終報告といった一連のステップを踏むことができる。 2. 計画書に沿ってデータを収集し、分析、結果のまとめと考察を討議をしつつ記述することができる。 3. 研究に取り組んだ全過程をまとめ、論文を作成することができる。 						
授業計画	回数	担当者	行動目標				
	<p>【行動目標】一連の看護研究過程の実際を段階的に進め、自己の課題論文を作成できる。 (下記研究過程に取り組むことができる。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究の意図と研究課題の確認(決定) ・研究計画の立案 ・研究計画書作成 ・倫理委員会資料作成 ・データ収集・分析の討議 ・中間報告 ・論文作成 <p>【教員研究テーマ】 在宅および施設で生活している高齢者の健康に関する研究、高齢者に関わる看護学生の学習経験に関する研究</p>						
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	学習者自ら一連の研究プロセスに沿った討議資料を作成しつつ臨むこと。					
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、参考書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に150時間以上の予復習が必要。					
教科書	特に定めない。						
参考書	特に定めない。						
成績評価の方法および基準	研究プロセス50%、作成資料10%、計画書発表20%、中間発表20%として評価する。						
その他履修上の注意事項	履修前提条件:1年次に倫理教育「eLCoRE」を受講し、修了していること。 図表作成、文献リスト、英文タイトル作成にあたってはAPA(米国心理学会)論文作成マニュアル最新版を参考にすること。 積極的に担当教員とコンタクトを取りながら進めること。 課題レポート等に対し、講義中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP4が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。						